

# CADM (MDA5抗体陽性皮膚筋炎) の治療

by 膠原病・リウマチ内科 大村 浩一郎

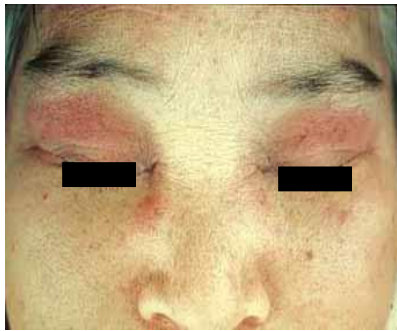
(用語) 多発性筋炎 (PM) ・ 皮膚筋炎 (DM)  
CADM (clinically amyopathic DM)

CADMとは

- ・ 典型的な皮膚筋炎の皮疹を示しながらも、筋症状の少ない皮膚筋炎
- ・ しばしば致命的な間質性肺炎を伴う。
- ・ 抗MDA5抗体が陽性となる

## 皮膚筋炎の皮疹

ヘリオトロープ疹



ゴットロン徴候

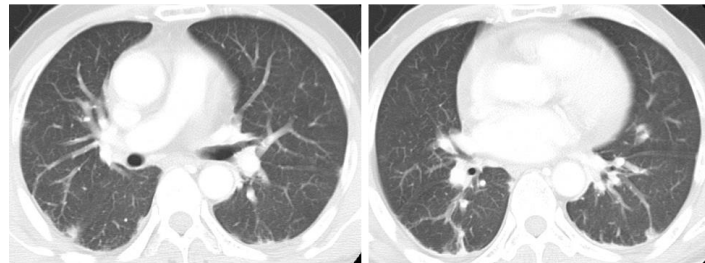


ショールサイン

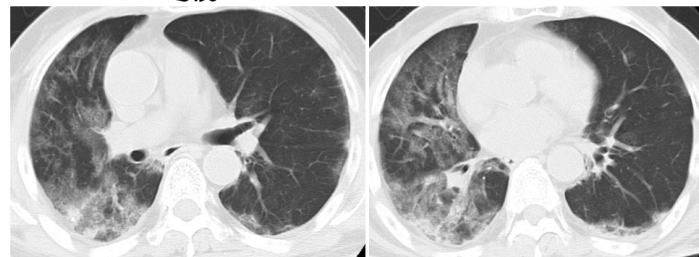


## 抗MDA5抗体陽性例の間質性肺炎

初診時

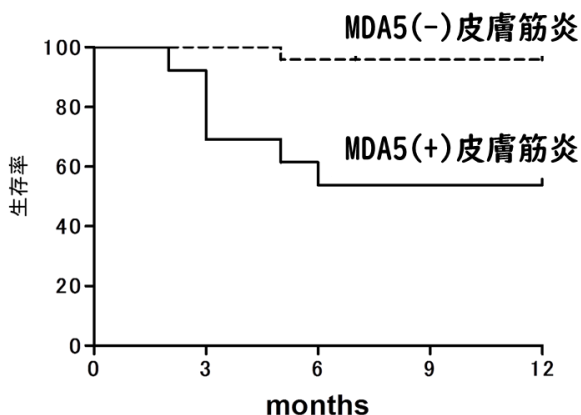


4週後

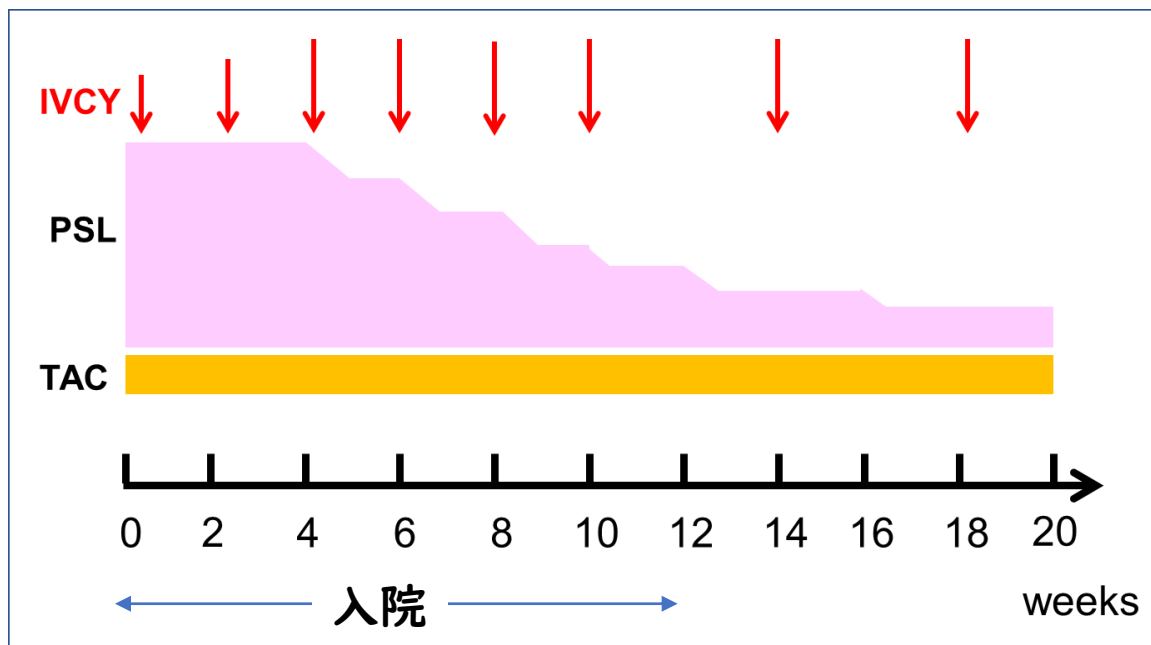


通常の大量PSL+IVCY

抗MDA-5抗体陽性皮膚筋炎患者の生存率 (10年前)



# MDA5抗体陽性皮膚筋炎の治療（3剤併用療法）



**IVCY:** エンドキサン点滴。通常500mg/m<sup>2</sup>のところをWBC 半減もしくは2500/uI以下になるまで**増量**。

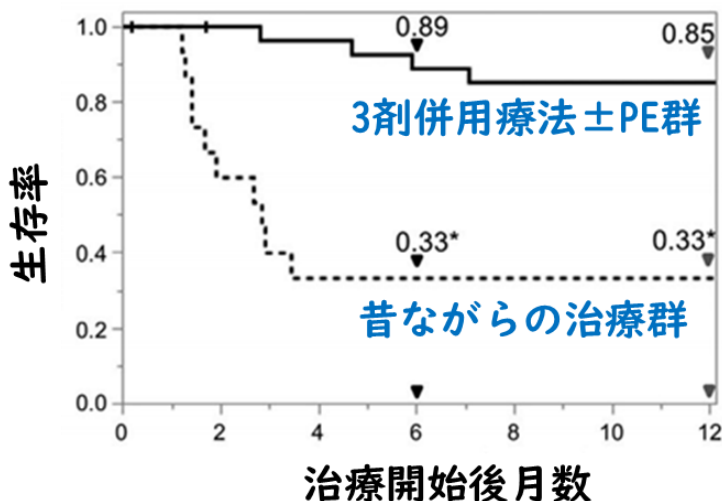
**PSL:** ステロイド大量療法。通常よりゆっくり減量。

**TAC:** タクロリムス（プログラフ）トラフ値 10 ng/mlめざす

**PE:** 上記で改善得られないとき、血漿交換(PE)を追加

新治療開始後の生存率の改善

3割しか助からなかった患者が8割救えるようになりました。ただし、副作用は必発です。



## 疾患活動性指標

- ・肺画像（CT）
- ・フェリチン値
- ・抗MDA5抗体価
- ・皮疹

口腔白苔

尿量確保  
2L

## 注意すべき副作用

- ・感染症は必発です（肺炎、CMV腸炎、真菌感染など）
- ・IVCYの副作用（血球減少、脱毛、嘔気、出血性膀胱炎など）
- ・PSLの副作用（moon face、不眠、うつ、糖尿など）
- ・TACの副作用（時にしびれや手の振戦、頭痛など）